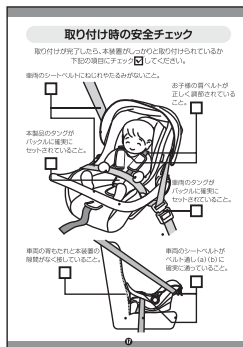


ママズキャリア
ブライトII
ベビーシート

重要

⚠️ 取り付け時のご注意



本装置をご使用される前に必ずお読みください。

取扱説明書(P17)の補足説明です。

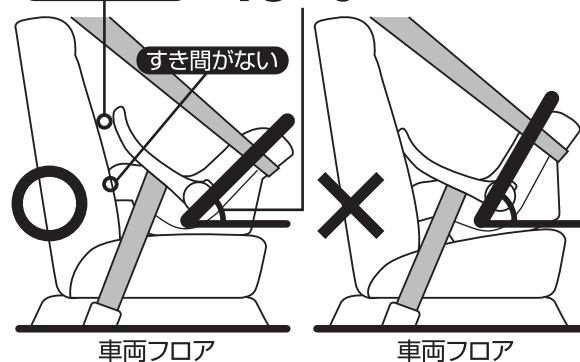
十分ご理解いただいた上でご使用ください。

※この補足説明書は、保証書と一緒に保管してください。

車両のフロア(水平)に対して、本装置の背もたれの角度が $45^{\circ} \pm 5^{\circ}$ になっているかをご確認ください。それ以上傾いてしまう座席は、車両の背もたれの角度・本装置の設置位置を調節して $45^{\circ} \pm 5^{\circ}$ になるように調節してください。

※調節できない場合は、ご使用いただけませんのでご注意ください。

すき間ができる $45^{\circ} \pm 5^{\circ}$



〈お問い合わせ先〉

企画・輸入元

株式会社 シーエー産商

本社 〒480-0201 愛知県西春日井郡豊山町大字青山字東栄51
TEL.0568-28-5333 FAX.0568-28-5340



ママズキャリー ブライトⅡ

ベビーシート



株式会社 **シーエー** 産商

本社 〒480-0201 愛知県西春日井郡豊山町大字青山字東栄51

TEL.0568-28-5333 FAX.0568-28-5340

<http://www.ca-sansho.co.jp/>

2016-04



**MUM'S
CARRY®**

ママズキャリー ブライトⅡ

ヨーロッパ規格適合品
ECE R44 / 04適合

Infant car seat
ECE R44 / 04
UNIVERSAL
0-13KG

(E4)

04443409
LB3210001

ベビーシート

取扱説明書

お子様の安全のため
ご使用前には
必ず本書を読んでいただき
十分理解された上で
記載の内容に従って
正しくお使いください。



体重
13kg
未満のお子様
0~1歳頃
まで

保証書付



危険 本製品は、後ろ向き専用です。

本装置をお買い上げいただき、ありがとうございます。

この取扱説明書は、安全にお使いいただくために本装置の説明をしています。本書に記載している事項が守られなかった場合に予測される、傷害の大きさにより、**危険** **警告** **注意**で区別して表記しています。

安全上とても重要な内容ですので、必ず取り扱い方法を守りご使用ください。



ママズキャリー プライトII
ベビーシート

お使いいただける
お子様の目安

体重 13kg未満のお子様
(0歳頃~1歳頃まで)

身長 本装置に乗せて頭が
本装置から出ないお子様

0歳児(低月齢)のご使用の注意

- 長時間連続してのご使用は、お子様の負担となりますので、1時間くらいを目安として休憩を取るようになってください。
- 運転者以外の同乗者は、お子様から目を離さないようにしてください。同乗者がいない場合は、運転者が安全に留意して、休憩時などにお子様の様子を確認してください。

〈目次〉

■安全にお使いいただくために…2	
●各部の調節	7
●お子様を乗せる	8
●ベルト穴の位置の選び方	9
●肩ベルトの長さ調節	10
●ハンドルの使い方	11
■各部の名称……………12	
●取り付け可能な 車両のシートベルトと 取り付ける上での注意点	13
■取り付けの準備……………14	
●取り付け方	15
●取り付け時の安全チェック	17
■ベビーキャリーとして使う…18	
■持ち方……………19	
■幌の使い方……………20	
■お手入れの仕方……………21	

①

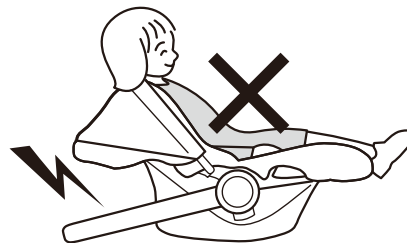
安全にお使いいただくために—①



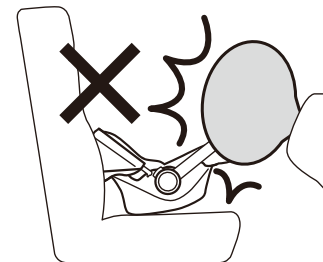
危険

本装置は、安全な後部座席への取り付けをおすすめします。
※エアバックの付いている前座席には、絶対に取り付けしないでください。

- 使用条件に適合しないお子様や、座席では使用しないでください。

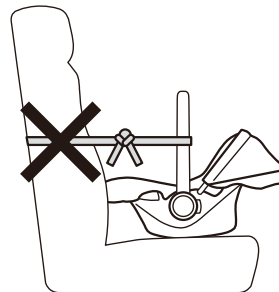


- エアバックが装着された座席では、本装置を使用しないでください。衝突時、エアバックの作動により衝撃を受け非常に危険です。
※サイドエアバックのみの場合は、使用できます。



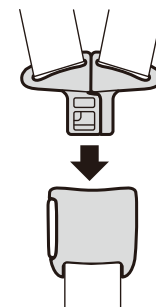
- 安全のため、必ず後ろ向きに取り付けてください。前向きでは絶対使用しないでください。

- 取り付ける際は、車両のシートベルトで必ず固定してください。ひも等シートベルト以外のもので固定して、使用しないでください。



- 「取扱説明書」通りに、しっかりと取り付けできない場合は、ほかの座席に取り付けるか使用しないでください。

- 左右のタングを重ね合わせて、「カチッ」と音がするまで確実にバックルに差し込んでください。



②

安全にお使いいただくために—②

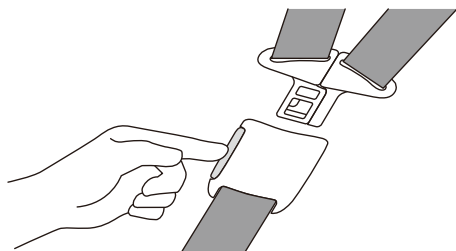
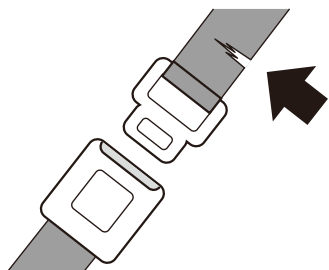


警告

- お子様が、バックルボタンを押してしまう可能性があります。タンクがバックルから外れていないかを確認してください。
- お子様を本装置に乗せないで、車内に置いたまま運転される場合でも、必ず車両のシートベルトで固定してください。



- 車両のシートベルトに傷がある場合、その座席には決して取り付けしないでください。
- 事故など緊急時は、バックルボタンを押し、肩ベルトを外してお子様を車外に脱出させてください。肩ベルトが外れない場合は、肩ベルトを切断してください。



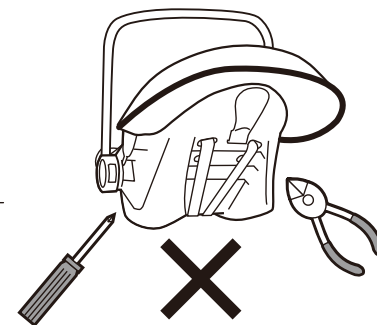
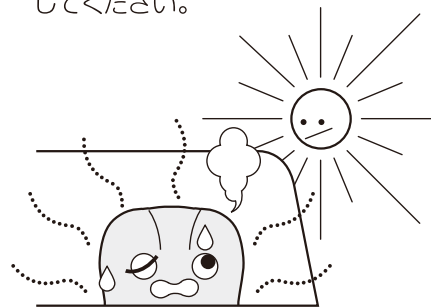
3

安全にお使いいただくために—③

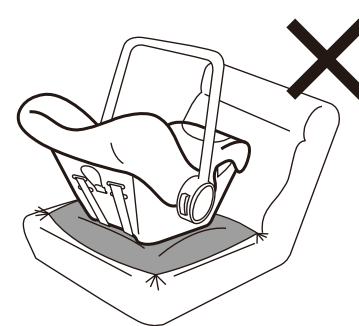
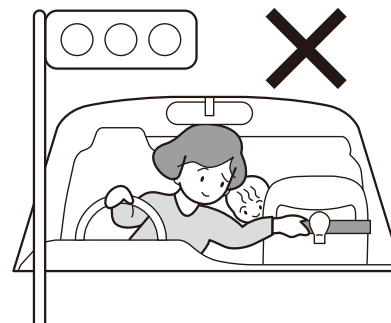


注意

- 直射日光が当たったり、夏の日差し強い日に車内に置いたままにすると、本装置のタンクなどが熱くなって、やけどをするおそれがありますので、日陰に駐車するか本装置にカバーをかけて保護してください。
- 本装置を改造したり、シートクッションを外して使用しないでください。万一の場合、十分な機能を果たさなくなります。



- 走行中は、本装置の操作・移動はしないでください。
- 車両の座席にクッションや座布団などを敷いたまま、取り付けしないでください。



4

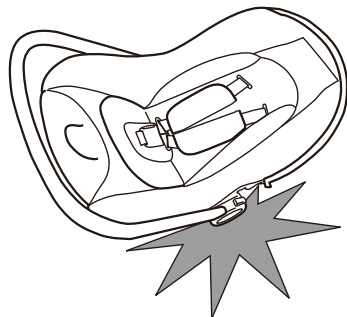
安全にお使いいただくために—④



警告

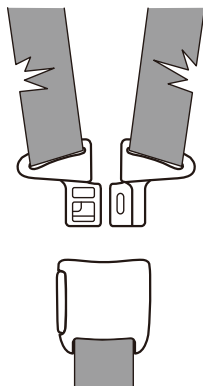
●お子様を本装置に乗せたまま、車内にひとりで放置しないでください。予期せぬ事故の原因となる場合がありますので、必ず保護者の方が、同乗してください。

●衝突事故や、本装置を落下させた時など、一度でも強い衝撃を受けた場合は、外見上問題がなくても絶対に使用しないでください。



●肩ベルトが緩んだ状態で使用すると、お子様が脱落したり肩ベルトが首に巻きついて窒息するおそれがありますので、正しい長さに調節してからご使用ください。

●本装置のベルトに傷が付いた場合、使用をただちに中止して、弊社までご相談ください。



安全にお使いいただくために—⑤



注意

●本装置が取り付けられるのは、3点式シートベルトの座席のみです。

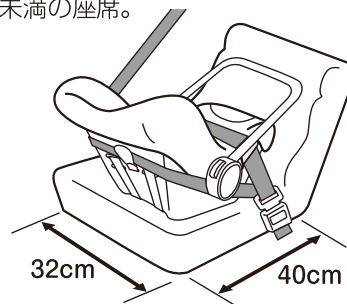


■2点式シートベルトの座席。



以下の座席には
取り付けできません

- 極端なバケットシート。
座面・背面が極端に凹んだ座席。
- 座面の凸凹が大きく不安定な座席。
- 座面の奥行きが40cm未満の座席。
- シートベルトの取り付け幅が32cm未満の座席。

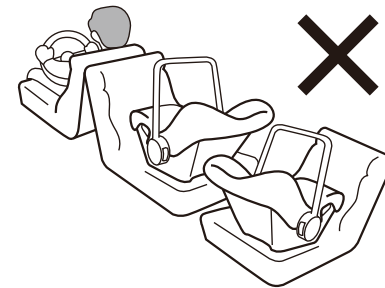


■シートベルトの長さが極端に短い座席。

■ベルト通しよりも前方に車両のシートベルトが出ている座席。



■車両の進行方向に対して座席が横向き、または、後ろ向きの座席。



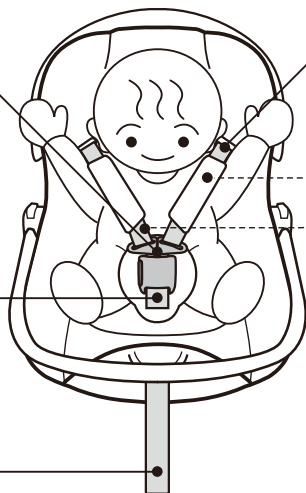
- パッシュシートベルト（オートマチックシートベルト）、自動シートベルト装着装置の車両の座席。
- シートベルトの付いていない座席。

各部の調節

タングをバックルに確実に差し込んでください。

バックルベルトがお子様の両足に通っていること。

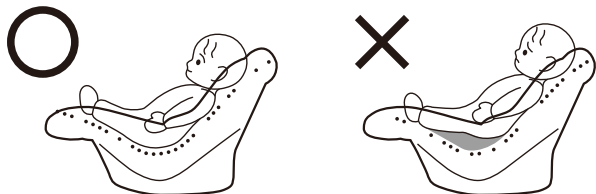
肩ベルト調節ストラップを手前に引き、肩ベルトの緩みをなくす。



お子様を乗せ、使用するベルト通し穴の位置を、お子様の体に合わせてください。

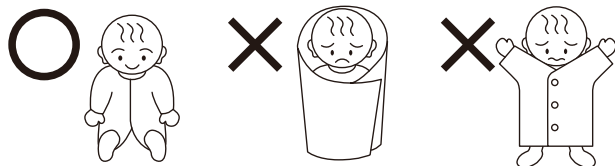
※肩ベルトの調節の目安は、お子様の肩と肩ベルトの間に、指が1本入る程度に調節してください。

■お子様を、本装置に深く乗せてください。



警告

おくるみなど手足の出ない衣類、かさばったベビーウェアの状態でご使用しないでください

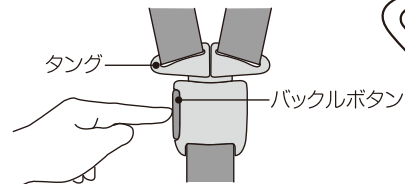


7

お子様を乗せる

1

バックルボタンを押してタングを引き抜き、肩ベルトを外します。



肩ベルト調節金具を押しながら肩ベルトを手前に引いて緩めます。

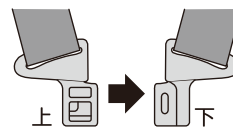


2

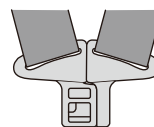
お子様を本装置に乗せ、左右の肩ベルトをねじれないように肩からかけます。

3

左右のタングを重ね合わせて、「カチッ」と音がするまで、確実にバックルに差し込みます。



左右を重ね合わせる



差し込む

カチッ

4

肩ベルト調節ストラップを手前に引いて、肩ベルトがお子様の体にフィットするように調節します。

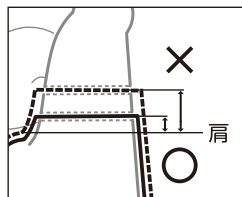
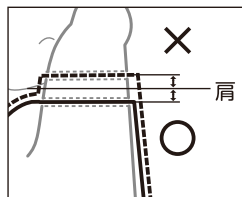
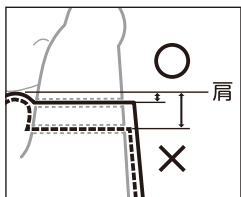
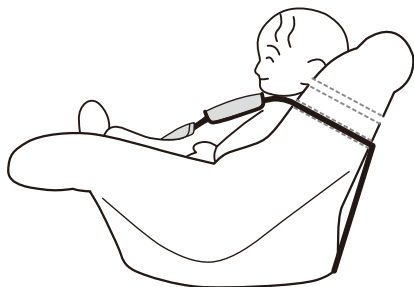


肩ベルト調節ストラップ

8

ベルト穴の位置の選び方

肩ベルトの“通し穴の選び方”と“高さの調整”は、お子様の肩の位置に一番近い下の穴に通してください。肩より上の位置になる場合は、肩の位置に最も近い位置に通してください。



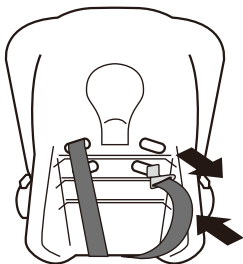
警告

ベルト通し穴の位置が、お子様の体に合っていないと衝撃が加わった時に肩ベルトが外れ、お子様を保護できません。

- 1** バックルボタンを押しタングを外し、肩ベルトから肩ベルトパットを引き抜きます。



- 2** 背もたれ裏側のベルト通し穴から肩ベルトを引き抜きます。



- 3** 肩ベルトをお子様の体に合った位置のベルト通し穴に通し、肩ベルトパットを通します。

- 4** お子様を本装置に乗せて、肩ベルトが適正な位置になっているかを確認してください。

肩ベルトの長さ調節

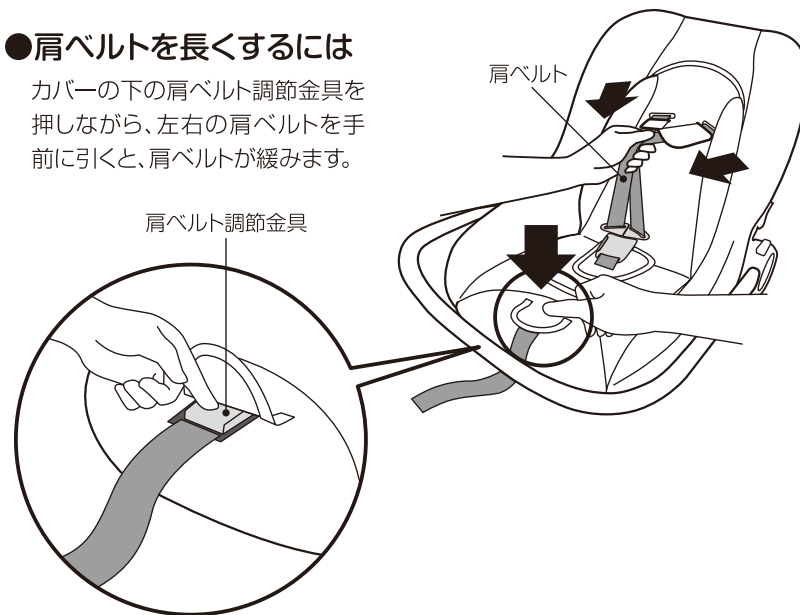
- 肩ベルトを短くするには

肩ベルト調節ストラップを手前に引くと肩ベルトが締まります。



- 肩ベルトを長くするには

カバーの下の肩ベルト調節金具を押しながら、左右の肩ベルトを手前に引くと、肩ベルトが緩みます。

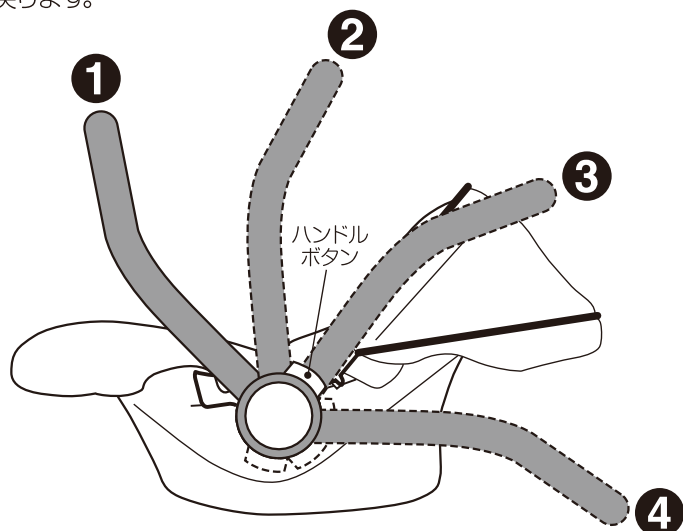
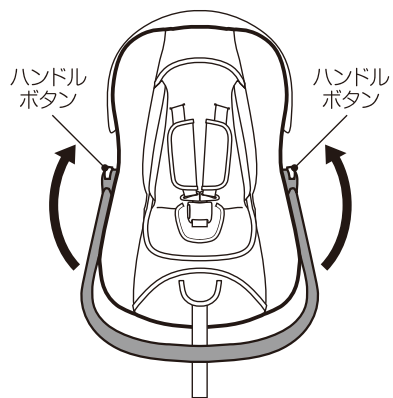


ハンドルの使い方

ハンドルにある2つのハンドルボタンを同時に押しながら、ハンドルの位置を前後に回転させてください。

ハンドルの位置は、4段階に調節することができます。

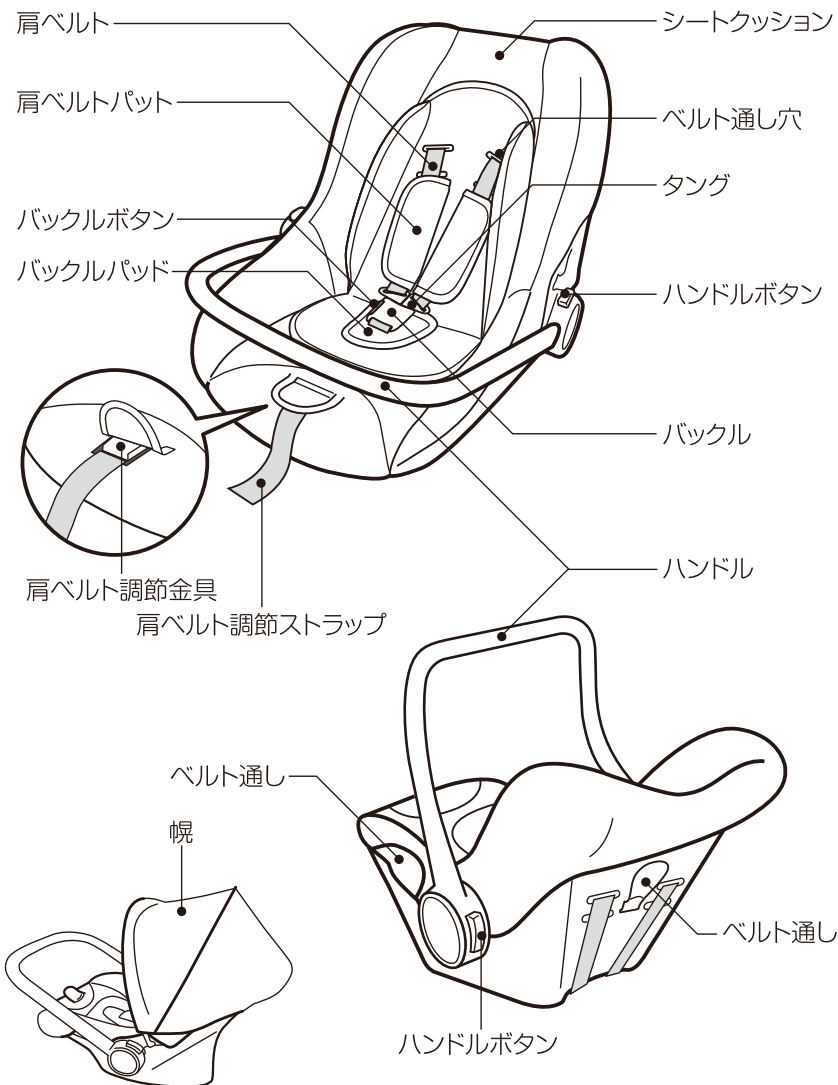
ハンドルが固定される位置になると、押し込んだハンドルボタンは元の位置に戻ります。



注意

ハンドルを回転するとき、お子様の手・指をはさまないように注意してください。固定しないままにしておくと、思わぬ事故につながる可能性がありますので、ハンドルは必ず固定した状態でお使いください。

各部の名称

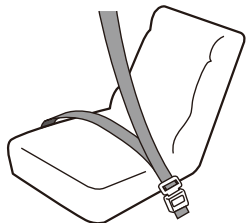


取り付け可能な車両のシートベルトと 取り付ける上での注意点

必ず3点式シートベルトの座席に取り付けてください。2点式シートベルトの座席には、絶対に使用しないでください。

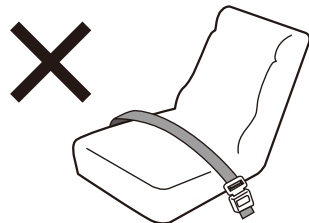
3点式シートベルト

腰ベルトの左右と肩ベルトの3点
で体を支えるシートベルト。



2点式シートベルト

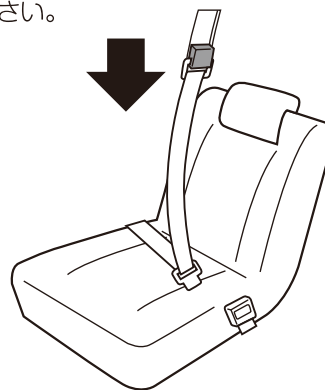
腰ベルトの左右2点で体を支える
シートベルト。



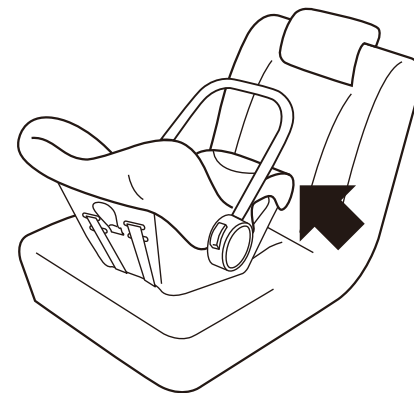
シートベルトの 種類	特 徴	取り付けの際の 注意点	取り付けの 可否
ELR 緊急ロック式 〈巻き取り装置付〉	ゆっくりと引き出すと自由 に出入りし、勢いよく 引き出すとロックする。	シートベルトをゆっくり 引き出して取り付けて ください。	○
AELR 〈チャイルドシート 固定機能付〉	すべて引き出した後で 巻き戻すと、チャイルド シート固定機能が働き それ以上伸びなくなる。	すべて引き出して使用 できません。チャイルド シート固定機能を解除 して使用してください。	○
NRマニュアル式 NLR非ロック式 〈巻き取り装置付〉	巻き取り装置・ロック 機能がなく、すべて引 き出して長さを調整。	ベビーシートに合わせて 長さを調整して取り付 けてください。	○
ALR 自動ロック式 〈巻き取り装置付〉	引き出す途中で止める と、ベルトが自動ロック され、それ以上引き出 せなくなる。	使用できません。	×

取り付けの準備

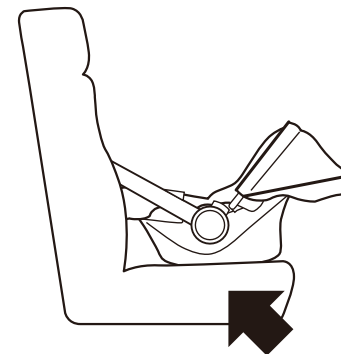
- 高さ調整ができるシートベルトの
場合は、最も低い位置にしてく
ださい。



- ハンドルの位置は、
車のシートの背の方向に向けて
取り付けてください。



- 前向きには絶対に取り付けないで
ください。

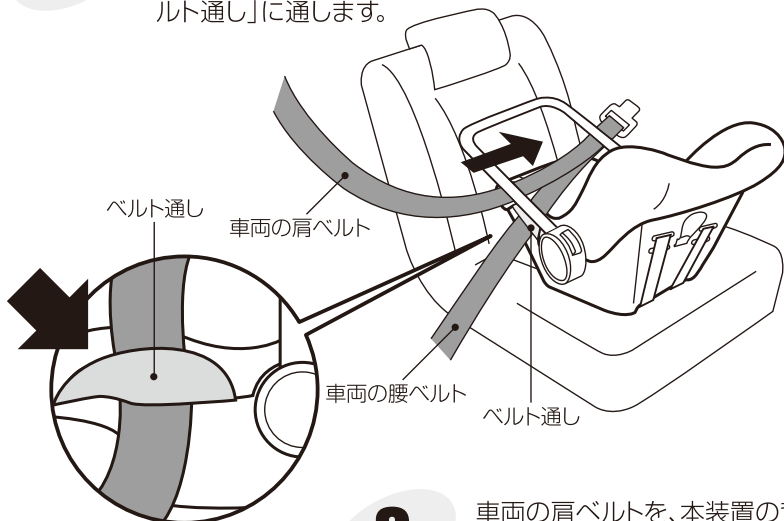


- 取り付ける座席に、本装置の底面
がぐらつかないようにしっかりと
設置させてください。

取り付け方

1

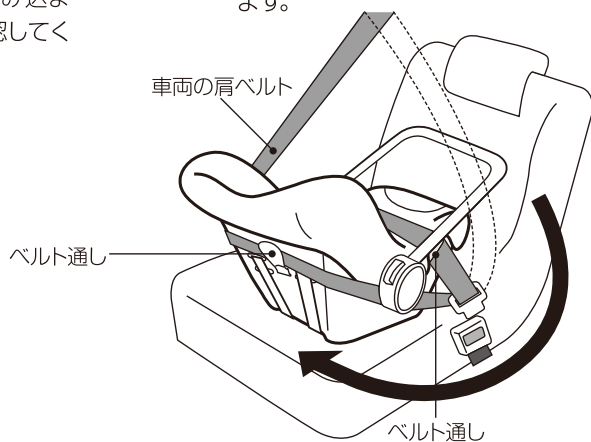
車両のシートベルトを引き出し、車両の腰ベルトを本装置のサイドにある「ベルト通し」に通します。



車両の腰ベルトが「ベルト通し」に、しっかり挟み込まれていることを確認してください。

2

車両の肩ベルトを、本装置の背面にある「ベルト通し」に挟み込みます。



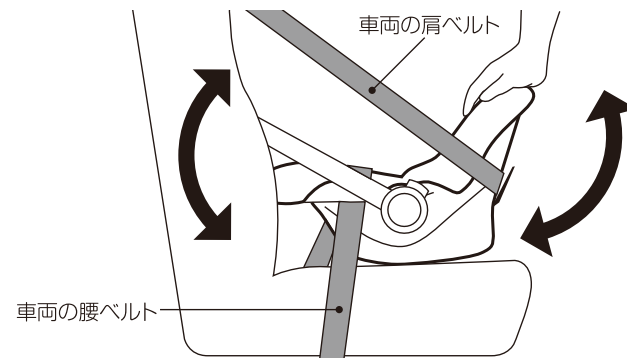
3

車両のタングを車両のバックルに差し込んでセットします。



4

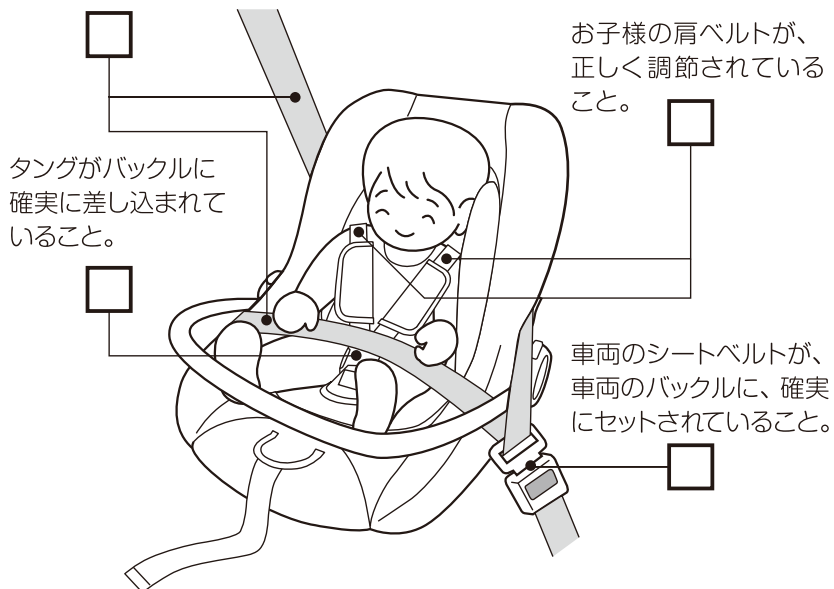
本装置を前後左右に揺すり、ぐらつきがないか確認してください。
車両の肩・腰ベルトに、たるみがないように引っ張り、調節してください。



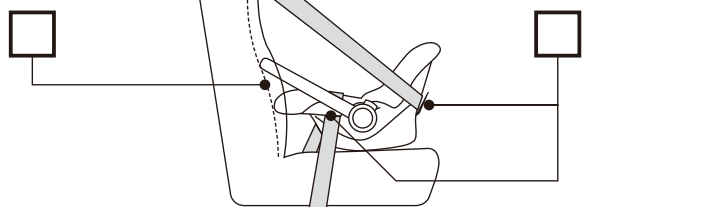
取り付け時の安全チェック

取り付けが完了したら、本装置がしっかりと取り付けられているか下記の項目にチェック☑してください。

お子様を乗せた状態で、車両のシートベルトにねじれやたるみがないこと。

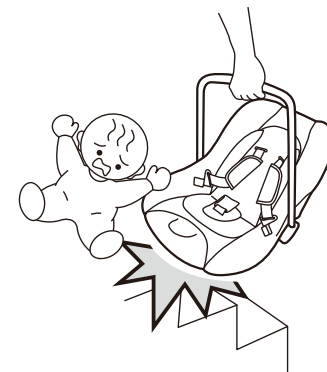


車両の背もたれと本装置が接している部分に、隙間ができていないこと。



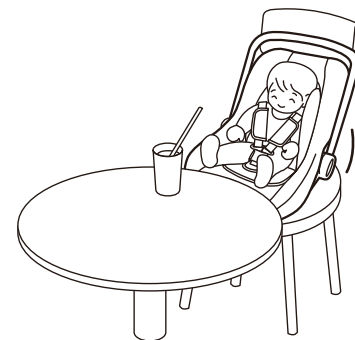
ベビーキャリーとして使う

●お子様を乗せるときは、車両に乗せるときと同様に、タンクとバックルを固定し、肩ベルトを適正な長さに調節してからご使用ください。



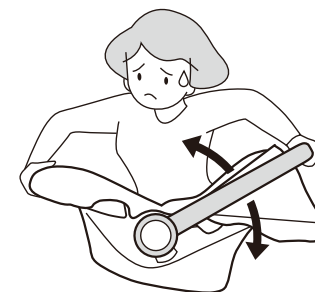
●階段・坂道や段差のある場所は、十分にご注意ください。ぶついたりすると、お子様や運んでいる方のケガの原因になります。

●テーブルや椅子の上など、不安定な場所に置いて使用しないでください。本装置のバランスが崩れて落下するおそれがあり、ケガの原因になります。



●ハンドルを肩にかけて本装置を持ち運ばないでください。運んでいる方が転倒した場合、ケガの原因になります。

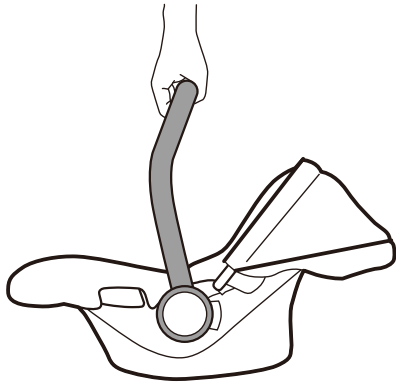
●右図のような持ち方は決してしないでください。ハンドルの位置が変わり、お子様が落下するおそれがあります。



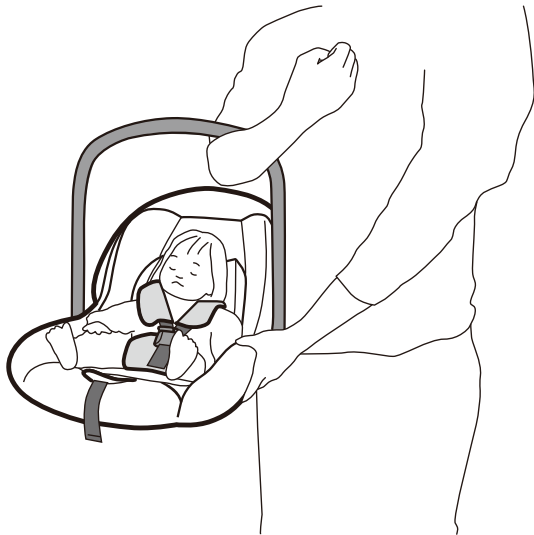
持ち方

ハンドルを垂直に立てた状態で、お子様を本装置に乗せたまま移動することができます。

●ハンドルを立てた状態で本装置を持つ場合

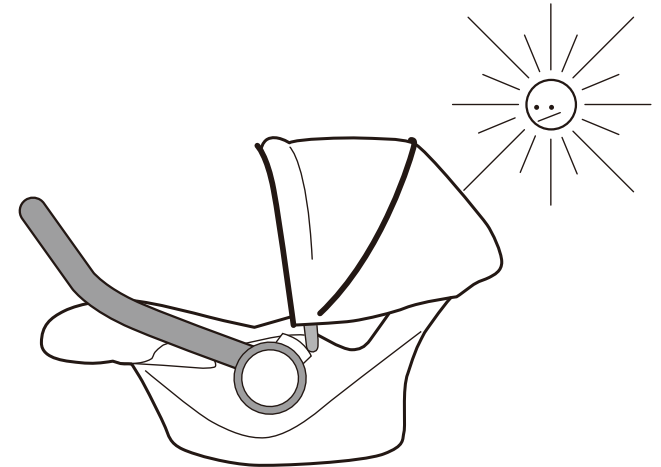


●ハンドルを肘にかけ、もう一方の手で本装置をつかむ場合



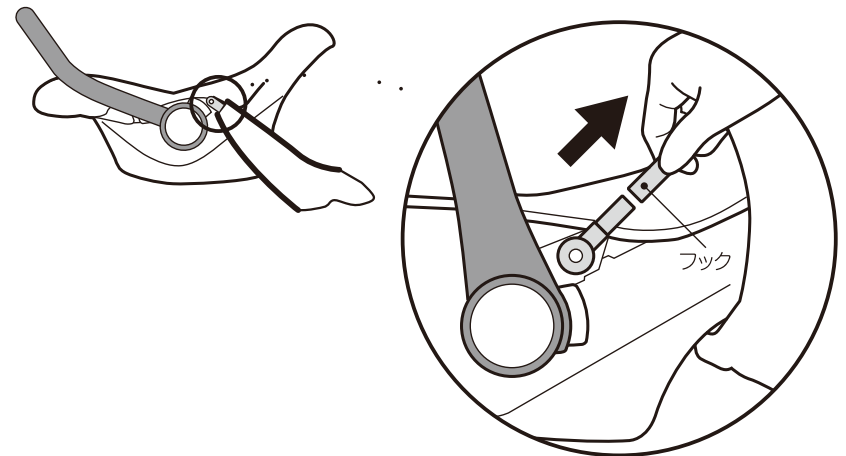
幌の使い方

幌はお子様を、強い日差しから守ります。



●幌の取り付け方・取り外し方

幌は、図のようにフックの抜き差しで取り付け・取り外しができます。



お手入れの仕方

1.

バックルボタンを押して、肩ベルトから肩ベルトパットを取り外します。



2.

背もたれ裏側のベルト通し穴から肩ベルトを引き抜きます。肩ベルト調節ストラップは、肩ベルト調節金具を押して引き抜きます。



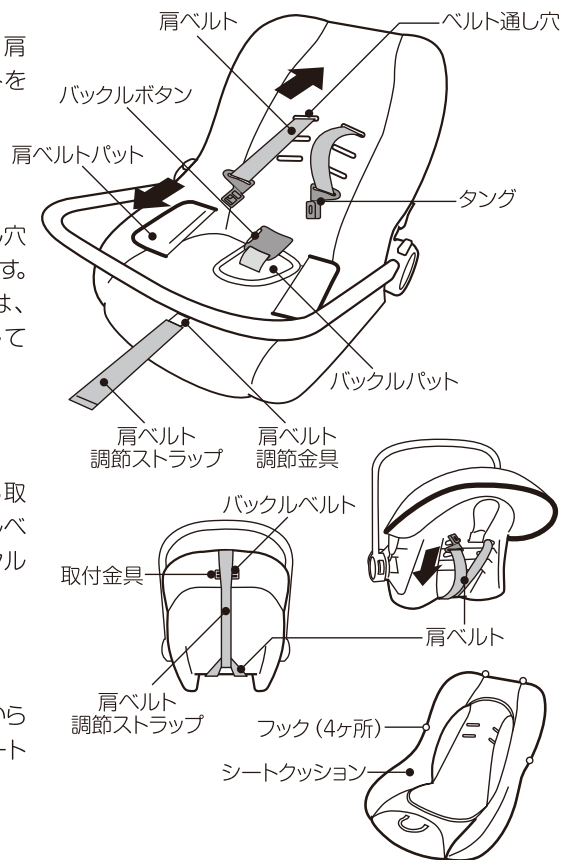
3.

本装置の座の裏側にある取付金具(右図)からバックルベルトを外し、バックル・バックルパットを取り外します。



4.

本装置の背もたれの裏側からフック(4ヶ所)を外し、シートクッションを取り外します。



	液温は30℃を限界とし、手洗いでください。		ドライクリーニングは、しないでください。
	塩素系漂白剤は、使用しないでください。		手絞りの場合は弱く、洗濯機脱水の場合は短時間で行ってください。強く絞ると、シワが残ることがあります。
	アイロンがけは、しないでください。		日陰で平干してください。